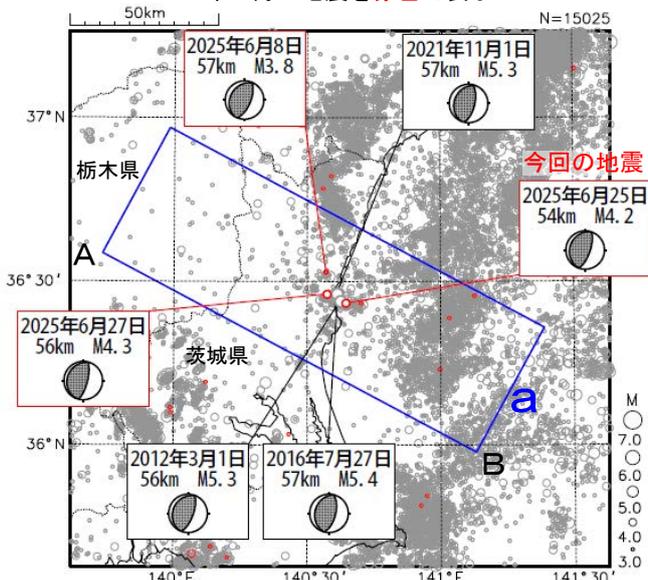
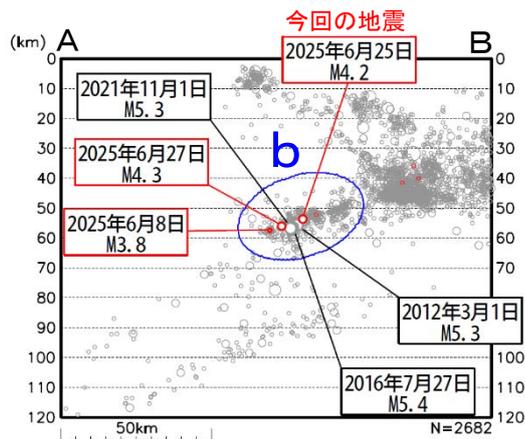


6月25日 茨城県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2025年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2025年6月の地震を赤色で表示

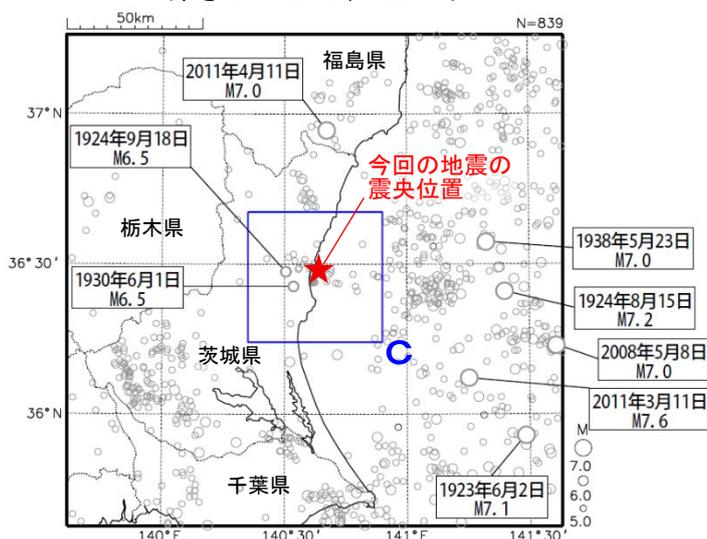


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2025年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)

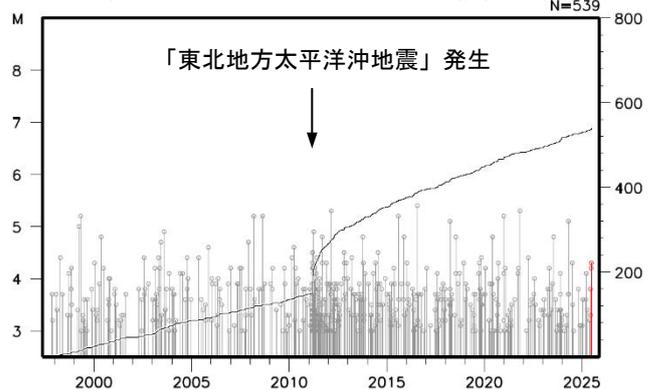


2025年6月25日13時51分に茨城県沖の深さ54kmでM4.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、ほぼ同じ場所で6月8日にはM3.8の地震(最大震度3)、6月27日にはM4.3の地震(最大震度3)が発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が時々発生している。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日にはM5.3の地震(最大震度5弱)、2016年7月27日にはM5.4の地震(最大震度5弱)などが発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、1930年6月1日に発生したM6.5の地震(最大震度5)では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

